

新生活が始まった1年生

広報(6月号・7月号・8月号)の3回にわたって町立小中学校の新1年生の様子を紹介していきます。

新宮小学校

新宮小学校に160人の1年生が入学し、にぎやかな学校生活が始まりました。1年生は、6年生と一緒に「朝の活動」が大好きです。毎朝6年生が教室で迎え、紙芝居や絵本の読み聞かせ、クイズなどをしてくれます。「朝の活動」を行うことで、心を落ち着かせ、1日を気持ちよくスタートしています。

はじめは緊張していた1年生でしたが、学校のきまりを守りながら学習に取り組むうちに学校生活に慣れ、学習や遊びなどで目を輝かせる姿が見られるようになりました。



▲休み時間、校庭で友だちと遊ぶ1年生



▲6年生と一緒にアサガオの種をまく1年生

新宮北小学校

新宮北小学校に入学した155人の1年生の子どもたちは、5月6日、7日に生活科「きれいに さいてね」の学習でアサガオの種をまきました。アサガオの種の形を初めて知り、どんな花が咲くのかワクワクしながら、楽しく活動しました。子どもたちは自分の手で優しく土をかぶせ、たっぷり水をあげたアサガオの芽が出ることを心待ちにしています。一緒にお世話をしてくれた6年生のお兄さん、お姉さんに感謝の気持ちを伝え、人と繋がることの大切さを学びました。

新宮中学校

新宮中学校に入学した1年生327人は、小学校で身に付けた爽やかなあいさつで、学校全体を明るくしてくれています。学習面では背筋を伸ばし、話をする先生や発表する生徒に体を向けて聞く態度などが素晴らしいです。また、はじめのある学校生活を送るために、代議員を中心に、生徒自らが考えた規律の徹底に向けたプロジェクトが始まっています。このはじめをつけることは、すべての「意欲」に繋がる大切なことです。新しいことを吸収しようと意欲に満ちあふれた新1年生は、「めぐり愛」のスローガンのもと絆を深めています。



▲学活の授業の様子

問い合わせ先 役場学校教育課 ☎963-1739(直)